

2025年12月期 第2四半期 決算説明資料

2025年11月13日

ソースネクスト株式会社

目次

- 1 ハイライト
- 2 事業の近況
- 3 今後の見通し
- 4 補足資料

1. ハイライト

損益計算書(連結/前期比較)

単位：百万円

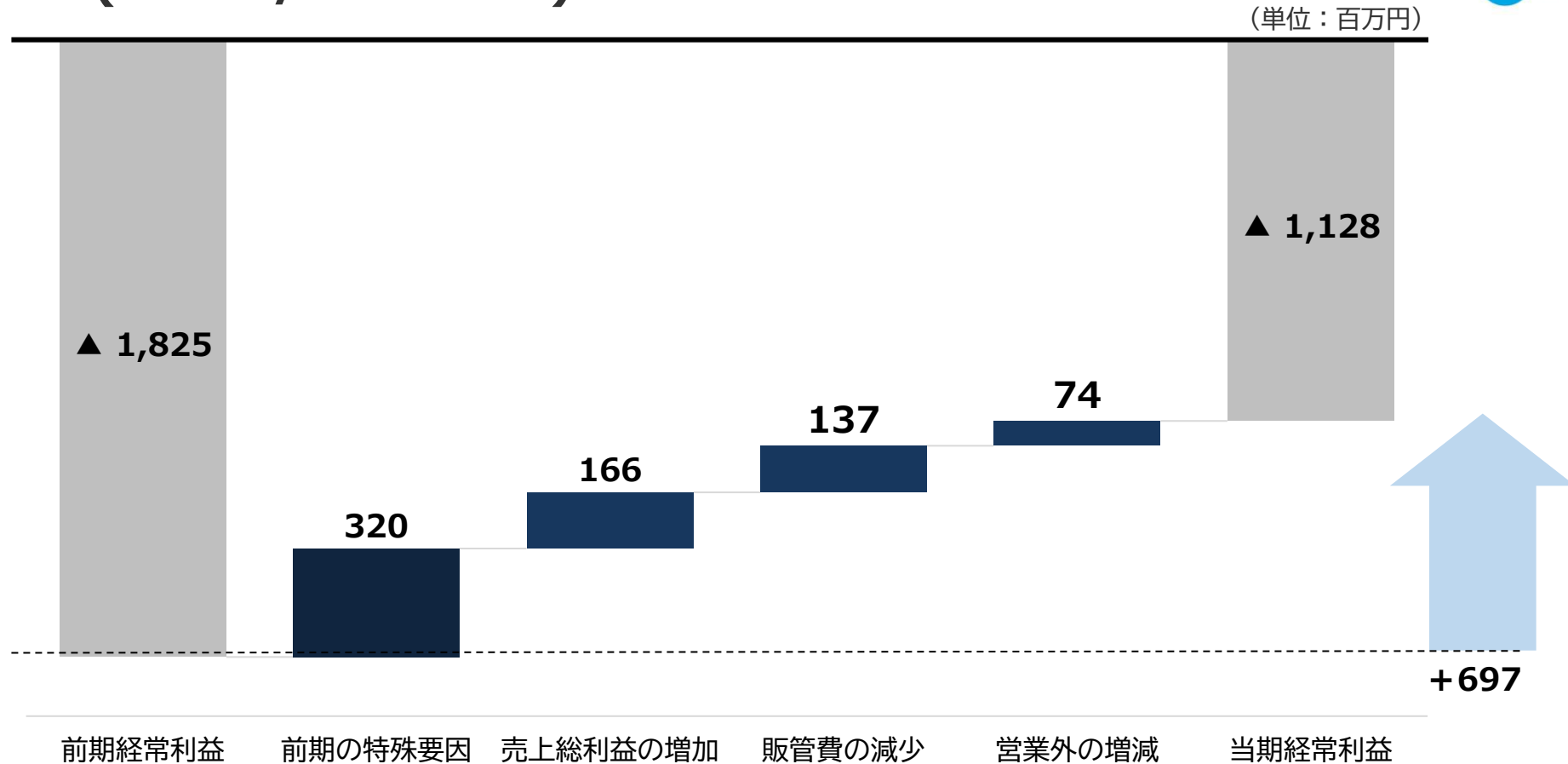
	2025年3月期 前中間連結 会計期間	2025年12月期 当中間連結 会計期間	前年同期比	
			増減金額	増減率
売上高	5,184	5,916	732	14.1% ↑
営業損失	-1,609	-985	624	-
営業利益率	-31.0%	-16.7%	-	14.3pt ↑
経常損失	-1,825	-1,128	697	-
経常利益率	-35.2%	-19.1%	-	16.1pt ↑
中間純損失	-1,681	-764	916	-
中間純利益率	-32.4%	-12.9%	-	19.5pt ↑

注) 中間純損失 = 親会社株主に帰属する中間純損失

増収により、損失額を半減

- ・売上高は前年同期比+7億32百万円（+14.1%）と増収
 - 1) 今期は、Windows10サポート終了の需要による主力ソフト製品の販売伸長
 - 2) 「Oura Ring 4」など新規ハードウェア取扱が寄与
- ・経常損失は縮小し、6億97百万円改善。上記の売上増加のみならず、全社的なコスト最適化により収益性の改善が順調に進展
- ・中間純損失は経常損失の改善に加え、税金費用等の減少により-7億64百万円と赤字幅が半減

経常利益の増減(前期比/第2四半期)

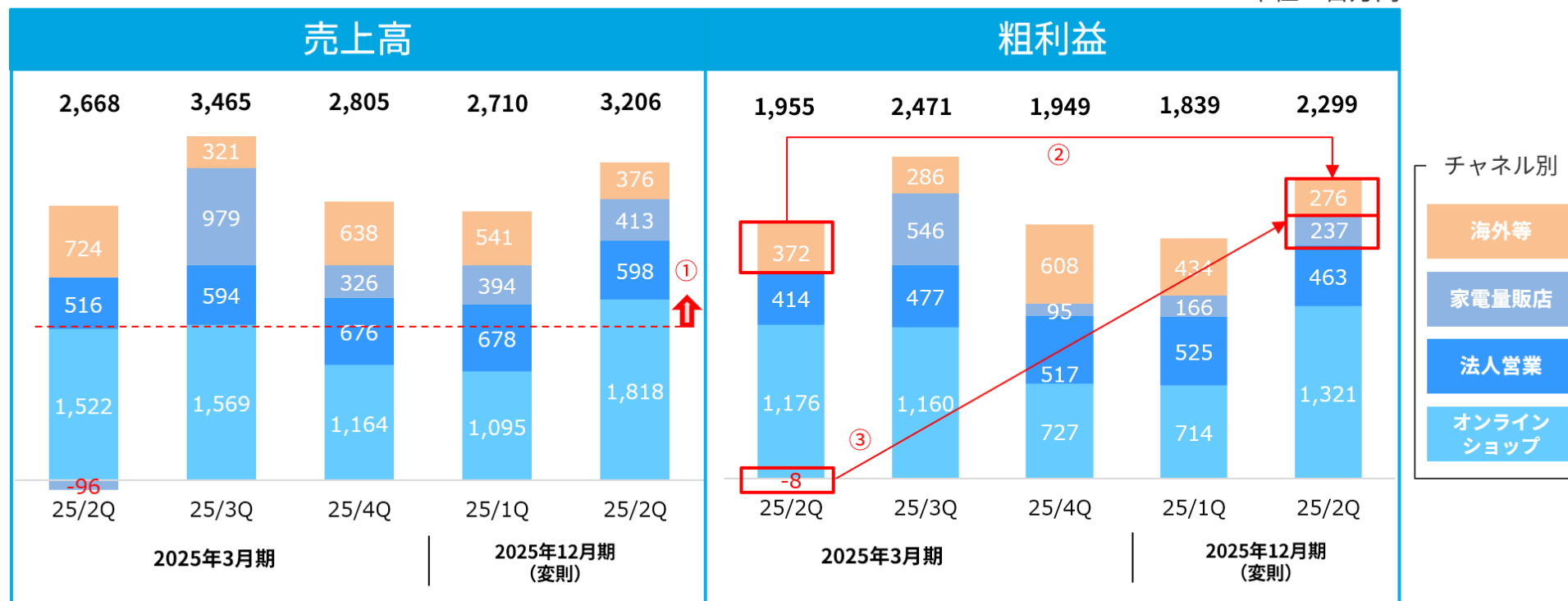


注)増加・減少は利益に対しての影響です

- ・前期は第3四半期の新モデル発売に伴い、旧製品の返品に備えて返金負債を計上しましたが、当期は発生していません
- ・Windows10サポート終了の需要によるセキュリフト製品の販売伸長、および「Oura Ring 4」など新規取扱が寄与
- ・グループ全社で、固定費を最適化による経営の効率化を図り、中期的な利益向上につながる体制に移行
- ・円安の進行に伴い、為替差益を計上

売上・粗利の推移(チャネル別/四半期)

単位：百万円



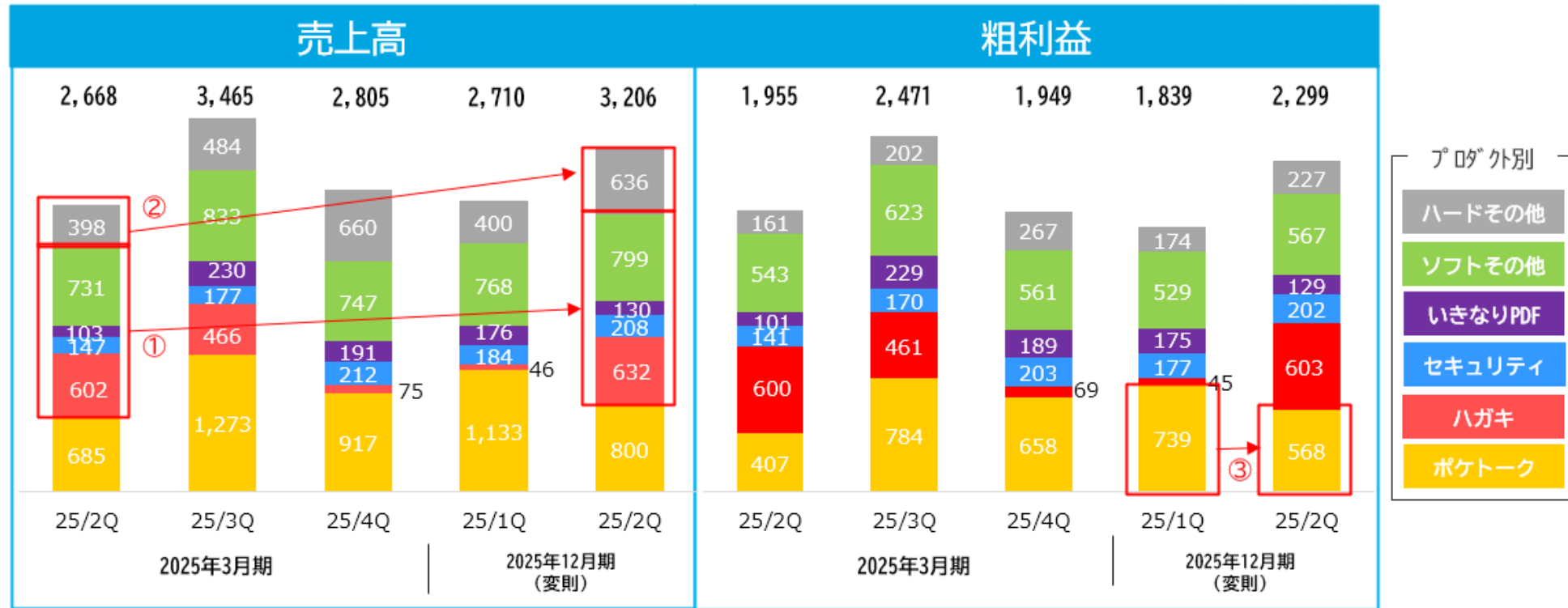
注)粗利は各製品・チャネルに直課できない開発費等の共通費を除いており、売上総利益とは一致しません

オンラインショップのさらなる成長と他チャネルの好転

- ①オンラインショップの売上高は1,818百万円、粗利も1,321百万円と、いずれも直近5四半期の実績としては最大の実績。
取扱製品数の拡充などにより、ハードウェア製品やその他のソフトウェアなどの取扱数や販売数が寄与
- ②海外等では、米国政策の見直しにより、「ポケットーク」の売上高は減少したものの、価格戦略の最適化とコスト削減が利益率改善に寄与
- ③家電量販店チャネルにおいては、前期は「POCKETALK S2」発売に伴い旧型端末に対する返品負債を計上したが、今期は当該負債はなし。
また、新製品「Oura Ring 4」の販売を開始

売上・粗利の推移(プロダクト別/四半期)

単位：百万円



注)粗利は各製品・チャンネルに直課できない開発費等の共通費を除いており、売上総利益とは一致しません

各プロダクトにおいて、前年同期比で、売上高・粗利益ともに増加

- ①ソフトウェア：Windows10サポート終了に伴う需要およびオフラインAI製品の発売などが寄与。
また、「いきなりPDF」の法人向け販売が引き続き好調
- ②ハードウェア：「Oura Ring 4」、「Pebblebee」などの新製品、当社サイト限定ハードウェアの販売により伸長
- ③ポケットーク：米国政策の見直しにより「ポケットーク」の売上高は減少したものの、原価低減・売値上げ・ソフトウェア販売の割合増加により、利益率が改善

連結貸借対照表



単位：百万円

	2025年3月末	2025年9月末	前期比 増減金額	増減率
流動資産	11,342	9,937	-1,405	-12.4%
現金及び預金	6,008	4,751	-1,256	-20.9%
売掛金	1,554	1,522	-32	-2.1%
商品及び製品	2,646	2,744	97	+3.7%
固定資産	5,866	5,625	-241	-4.1%
総資産	17,209	15,562	-1,646	-9.6%
流動負債	6,165	5,613	-552	-9.0%
固定負債	1,689	1,596	-93	-5.5%
純資産	9,354	8,353	-1,001	-10.7%
自己資本比率	43.4%	43.5%	-	+0.1pt

注) 自己資本比率は、(純資産-新株予約権-非支配株主持分)/純資産で算出

短期借入金を5億円返済したことにより現預金および流動負債が減少

ポケットーク株式会社 損益計算書(連結)



単位:百万円

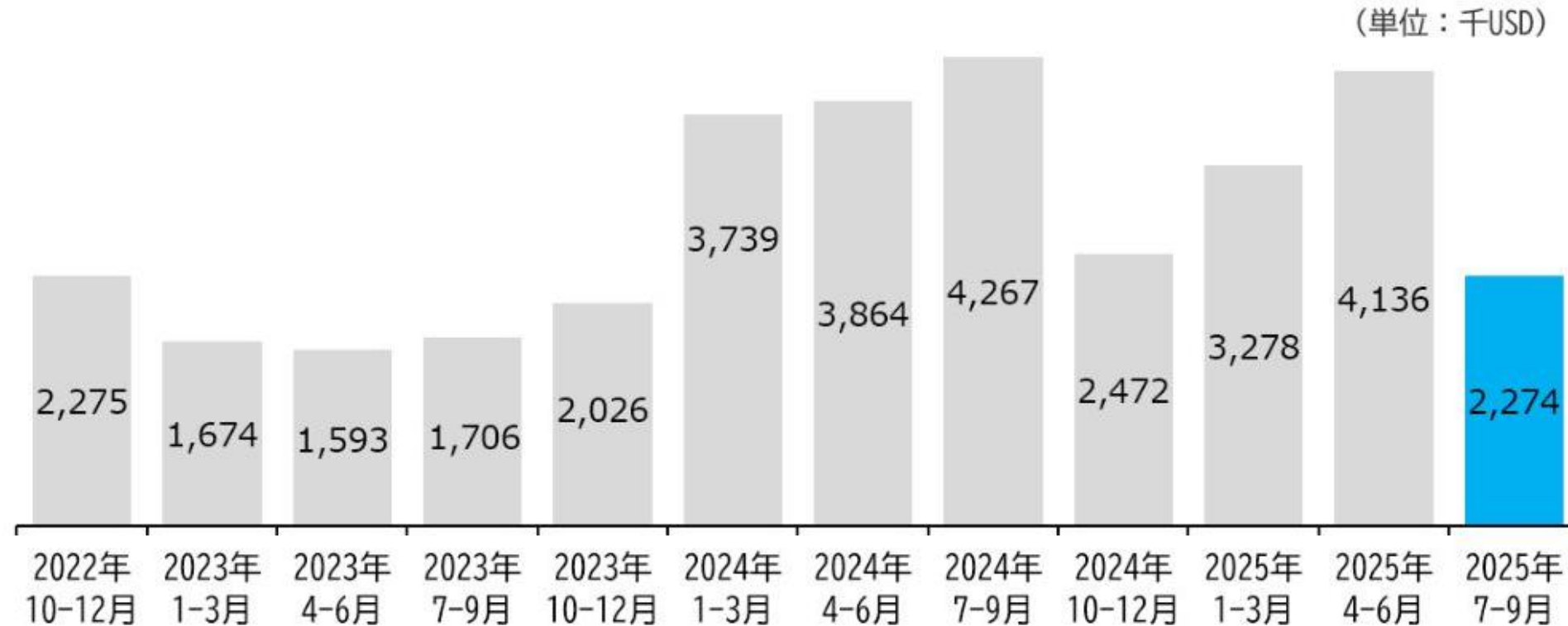
	2024年4-9月	2025年4-9月	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,946	1,816	-129	-6.7% ↓
売上総利益	757	642	-114	-15.1% ↓
売上総利益率	38.9%	35.4%	-	-3.5pt ↓
販売費及び一般管理費	1,797	1,755	-41	-2.3% ↓
人件費	579	623	44	7.6% ↑
業務委託費	419	332	-86	-20.8% ↓
広告宣伝費	175	195	20	11.8% ↑
営業利益	-1,039	-1,112	-72	-7.0% ↓
営業利益率	-53.4%	-61.3%	-	-7.9pt ↓

- ・米国政策の見直しにより、米国における「ポケットーク」の売上高が減少
- ・社員増強により業務を内製化することで、全体的にコスト効率を改善

2. 事業の近況

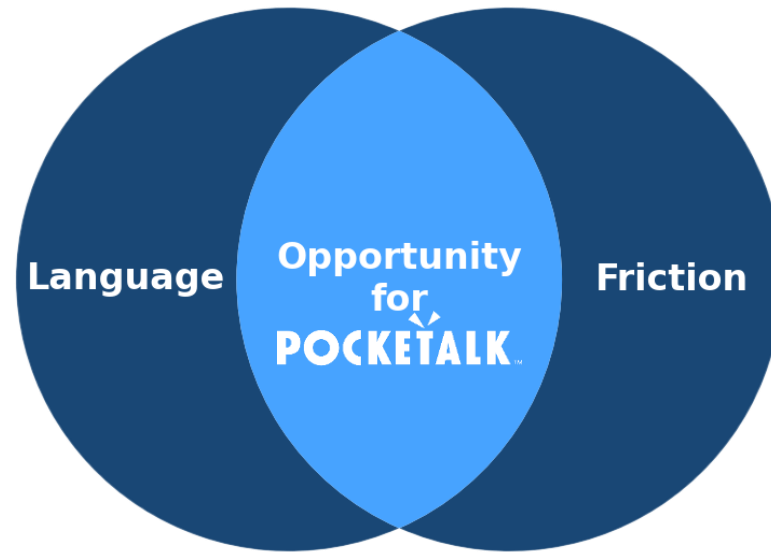
1) ポケットーク事業の近況

米国でのポケットーク事業 売上高の推移



- 米国政策の変更により、教育事業に対する補助金の支給の再開が遅れ、受注が遅れている
- 1件当たりの取扱単価が減少したことで、前期と比べて減収したが、チャネル開拓が奏功し取引件数は増加
- 補助金に依存しないセクターにリソースのシフトを進める

米国における成長戦略



「言語の壁」があるところに、成長機会がある

- ・言語の壁が日常業務に支障をきたしている業界に注力
- ・安全性・コンプライアンスの確保に、翻訳が必要不可欠な業界へのアプローチ
- ・業務上の障害が大きいほど、利用頻度が高まり、企業にとってのROI（投資対効果）の正当性が強まる

*言語の壁 異なる言語を話す人同士がコミュニケーションを取る際に生じる、理解のズレや業務の非効率さ

例：医療現場で患者が英語を話せないと、症状の説明や治療方針の理解に時間がかかる

物流業界で英語が苦手なスタッフが安全マニュアルを理解できないと、事故のリスクが高まる など

米国における業界別の成長機会

「言葉の壁」があるところに、成長機会がある

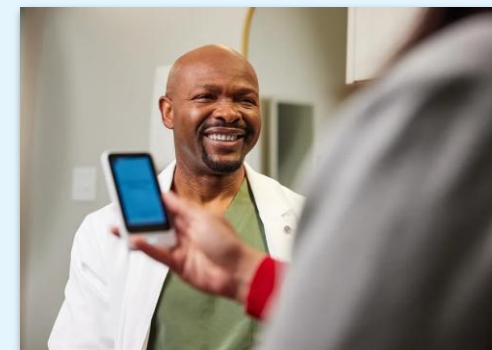
教育

- 公立教育課程には、530万人の英語学習者が在籍（全生徒の約10.6%）^{注1}
- 政府は、年間8,782億ドル（約131兆円）、1人あたり17,700ドル（約265万円）を支出^{注2}



医療

- 米国には6,000以上の病院があり、医療関連サービス提供者は約770万人^{注3,4}
- 2028年には医療費が7.5兆ドル（約1,125兆円）に達し、GDPの約20%を占める見込み^{注5}



政府、パブリック・セキュリティ

- 米国には連邦機関が438、地方自治体は74,000以上が存在^{注6,7}
- 翻訳/通訳の年間支出額
連邦政府：20億ドル（約3,000億円）以上
州/地方政府：10億ドル（約1,500億円）以上^{注8}



物流

- 米国の労働年齢人口（16～64歳）のうち、約1900万人が英語力が限定的（LEP）に区分^{注9}
- そのうち約600万人（約32%）が、製造業/運輸/倉庫業などの物流分野で雇用^{注10}



出典：注1) National Center for Education Statistics (NCES), Common Core of Data (CCD)
注2) U.S. Department of Education, Digest of Education Statistics
注3) American Hospital Association (AHA) Annual Survey
注4) Bureau of Labor Statistics & CMS推計
注5) Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), National Health Expenditure Projections

注6) U.S. Government Manual / Wikipedia list of federal agencies
注7) U.S. Census Bureau, Census of Governments
注8) GAO報告 & CSA Research
注9) U.S. Census Bureau, American Community Survey (ACS)
注10) Bureau of Labor Statistics + ACS推計

米国における業界別の営業戦略

教育

課題

端末およびVentana(管理ツール)に加え、Sentio(リアルタイム通訳)など新たなニーズの高まり

営業戦略

- ・トライアルや販売後のフォロー活動を通じて、認知度・信頼性を高め、関係を強化するとともに口コミによる拡販を促進
- ・米国政策の遅延により購買サイクルが長期化しているため、迅速な導入が可能な中小規模学区への注力を強化

政府、パブリック・セキュリティ

課題

政府機関等においては、導入事例やエビデンスに基づく提案、口コミなど関係性を重視したアプローチが求められる

営業戦略

保安事務所などの成功事例が増加しており、高い注目度の案件を流用したPR活動や、流通チャネルを行使し取引拡大を強化

医療

課題

医療従事者は既存の翻訳サービスに対し、「処理に時間がかかる」「翻訳が不正確」「管理ツールがない」といった強い不満を抱いている

営業戦略

ポケットークの強みである高精度かつ高速な翻訳エンジンを、専用端末だけでなくアプリでも提供し、さらに全体を統合管理できるツール機能により導入障壁を低減する

物流

課題

物流業においては、英語が苦手なスタッフが存在する場合、業務の非効率が生じるだけでなく、安全マニュアルを理解出来ないことで事故リスクが高まる

営業戦略

そうした課題は製造業にも共通しており、他業界においても並行してトライアル導入を推進する

米国における業界別の主要顧客

教育



医療



政府、パブリック・セキュリティ



物流

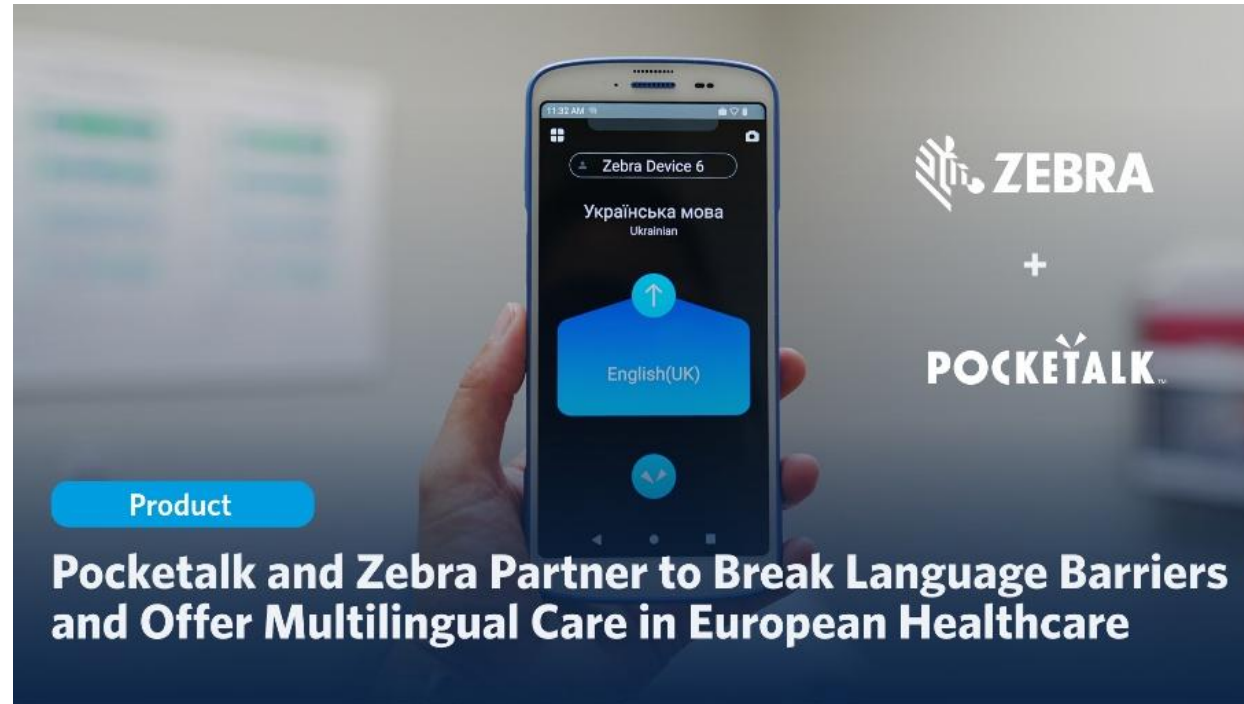


PR活動と受賞歴

代表例



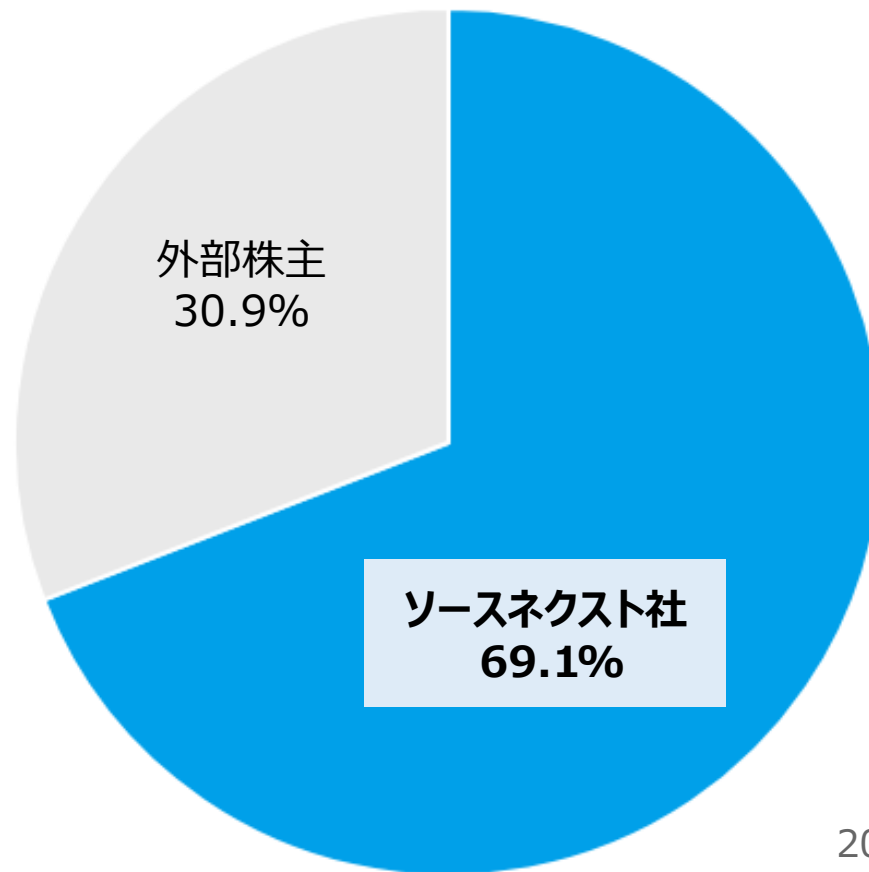
法人用アプリ『ポケットーク エンタープライズ アプリ』 欧州の医療現場向けに提供を開始



- ・米国・ゼブラ・テクノロジーズ社と連携し、同社の医療用モバイル端末やタブレット、キオスク（セルフサービス端末）に、「ポケットーク エンタープライズ アプリ」を搭載
- ・高い翻訳精度だけでなく、高度なセキュリティ対策を行なうことで、患者との円滑な対話を支援
- ・英国から展開を開始し、今後、フランスやドイツにも、展開予定

株式保有方針

ポケットーク社の株主構成



2025年9月末時点

当社はポケットーク社上場後も、ポケットーク社株式の過半数を継続的に保有する方針です

ポケットーク株式会社の上場について

目的

ポケットーク株式会社の上場により、さらなる製品開発およびグローバル市場における販売強化、人材の確保を目指します。当社の主力事業として、今後のさらなる成長が期待できる分野への投資を積極的に行なってまいります。

資金使途

本上場に伴う株式売却により得られる資金は、新製品・サービスの新規開発やマーケティング等に充当するとともに、財務体質の強靱化を図ります。これにより、持続可能な成長基盤の構築を実現してまいります。

株式過半数維持の背景・目的

ポケットーク社の自主性・独立性を確保しながらも、株式の過半数を保持することで、ソースネクストグループとしてポケットーク社の事業拡大を連結業績へ反映させること、当社グループ子会社の市場価値や社会的信用力の向上などにより、当社グループの企業価値を最大化できると考えたためです。また、今後のグローバル展開において、グループとしての相乗効果を最大化するためにも、この資本関係の維持が重要であると判断いたしました。

進捗状況

株式上場に向けて、監査法人との協議や社内体制の整備を進めています。

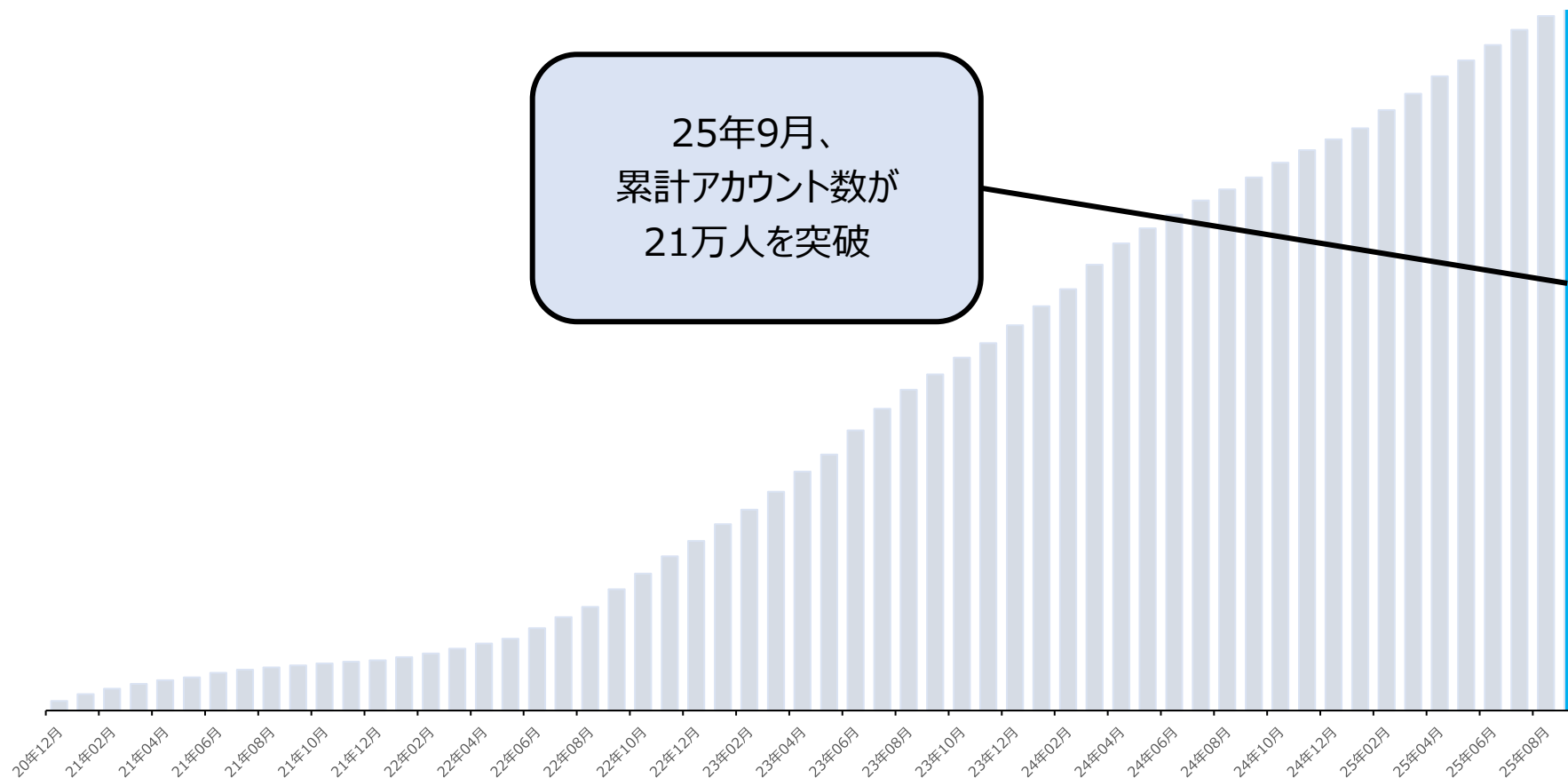
今後の見通し

当社は、2026年の上場を目途として準備を進めています。株式上場に際しては、関係当局の承認を前提とすることに加え、株式上場の準備過程における検討の結果次第で、変動する可能性があります。また、本件に関し、今後開示すべき事由が生じた際には、速やかに開示を行なう予定です。

2) ソースネクスト事業の近況

①オートメモAI

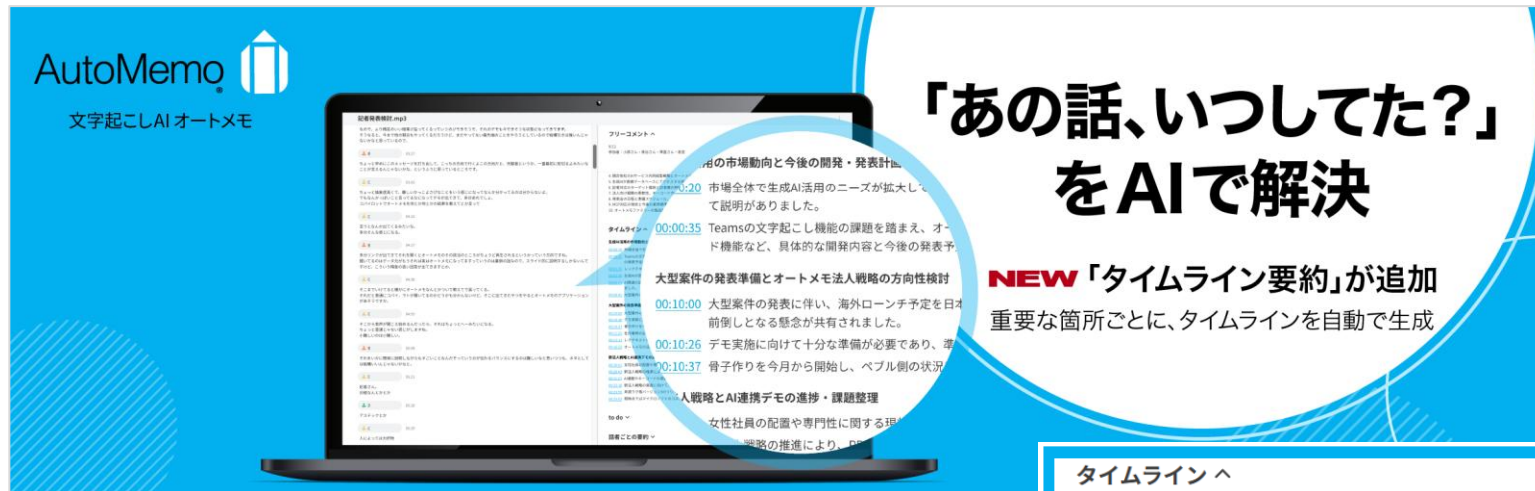
文字起こしAI『AutoMemo』累計アカウント数が 2025年9月時点で21万人を突破



2025年6月の価格プランの変更により、有料会員数も順調に増加

①オートメモAI

2025年9月、「タイムライン要約」機能をリリース



録音内容を約10分ごとにチャプター分け。各チャプターにタイトルを自動付与。
その上で、各チャプター内の重要箇所を抽出して、
タイムライン形式で要約を表示。議論の流れを一目で把握することが可能。

タイムラインへ

AI本格翻訳ソフトの特徴と操作デモ

- 00:02:17 11月21日に発売されたソースネクストの新製品AI本格翻訳の魅力を紹介。
- 00:03:57 オフライン環境でも高精度な翻訳が可能で、機密情報の漏洩リスクがない点を強調。
- 00:04:35 ブルースコアによる評価で、従来のオフライン翻訳ソフトより飛躍的に精度が向上し、Google翻訳とほぼ同等の性能を実現。
- 00:05:00 買い切り製品であり、サブスクリプション不要で継続利用可能。
- 00:05:47 テキスト翻訳機能の操作説明。逆翻訳機能により翻訳結果の精度確認が可能。
- 00:07:53 ファイル翻訳機能の説明。ドラッグ&ドロップで複数ファイル登録可能で、レイアウト優先設定やフォルダ監視機能による自動翻訳も対応。

AI本格翻訳ソフトの機能説明とオフライン利用の利点

- 00:10:00 画像翻訳機能の操作方法とOCR結果の修正方法について説明し、より自然な翻訳が可能であることを紹介しました。
- 00:12:07 PowerPointやExcelなど多様なファイル形式に対応し、翻訳に時間がかかる場合があるが、翻訳ボタンを押して待つことで対応可能と説明しました。
- 00:12:57 ニューラル機械翻訳を一般的なPCのCPUで動作させ、オフライン環境でも利用可能であることを強調し、サーバーコストや文字数制限がない点を説明しました。
- 00:14:50 発売キャンペーンの案内と視聴者からの質問受付を行い、Wi-Fi不要で使用可能な点やPCのスペック要件について回答しました。
- 00:17:11 オフライン利用の利点として、ネット環境に依存せず容量や文字数の制限がないこと、買い切り型で高額なサブスクリプションが不要であることを説明しました。

②ソースネクストAIラボ

ソースネクストAIラボの概要

当社では、高性能で使いやすいAIを追求する研究開発(R&D)チーム "ソースネクストAIラボ"を持ち、オートメモをはじめとするAI製品の開発を推進

2024年に、Microsoft社やIntel社の取り組みによってAI処理専用のチップ NPUを搭載したPC(AI PC)が多数登場。今後、オフラインでAIを活用できる環境が普及する見込み。

< 主要なニーズ >

機密情報・個人情報を扱うケース



官公庁、土業、一般企業の多く部門

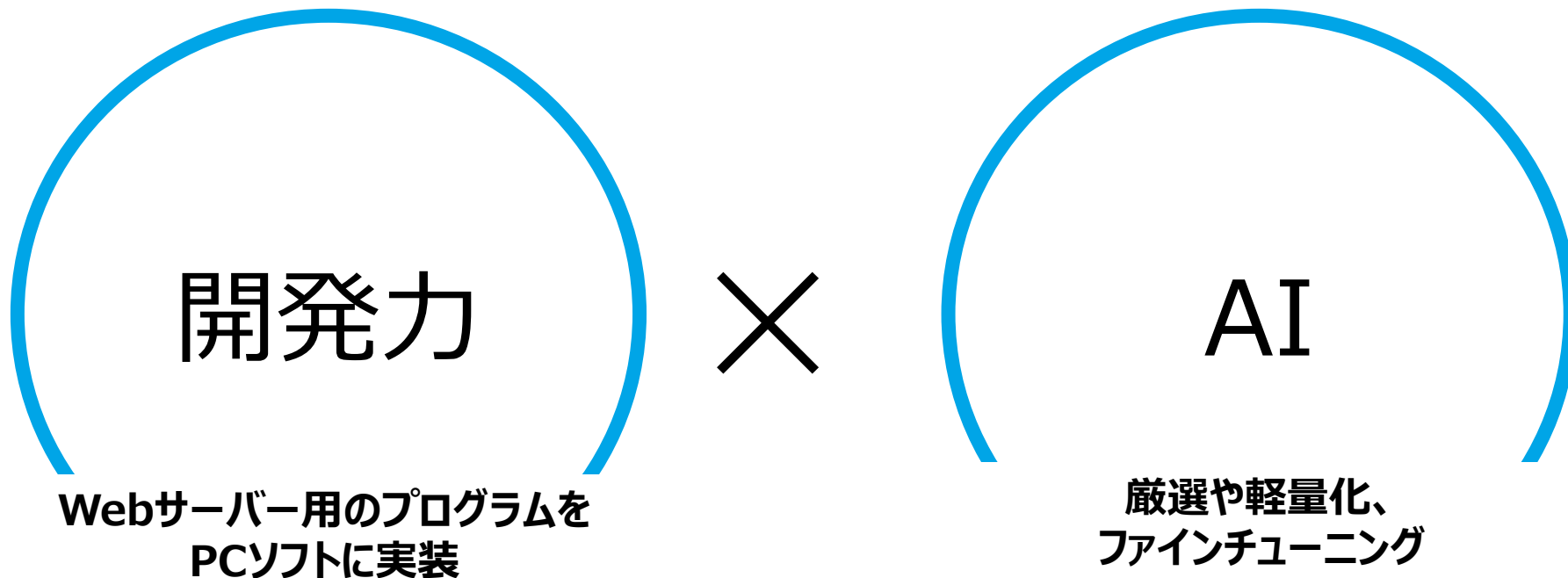
ネットに接続できないケース



電波が届かない場所、接続禁止の場所

①ソースネクストAIラボ

ソースネクストの強み



一般的なパソコンのCPUで、動作可能なAI製品を開発できる

パソコンのローカル環境で動く高性能なソフト、かつ一般的なパソコンで動作できる軽量化を両立したソフトを開発、販売を実現。

③その他の製品

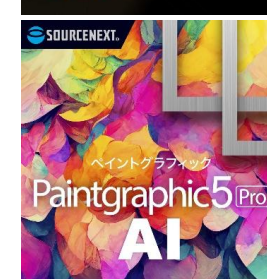
2025年9月、360度webカメラの、4K対応高画質モデル 「Meeting Owl 4+（ミーティングオウル 4+）」の販売を開始



- 4K対応カメラを搭載し、広い会議室でも、本体から離れた席の参加者の表情まで鮮明に映し出すことが可能
- 照明環境に左右されにくいダイナミックレンジの向上により、明暗差のある空間でも高画質を維持

③その他の製品

AIを活用したその他の製品



今後もAIを活用した製品を続々と追加予定

2025年7月、最先端の革新的スマートリング 『Oura Ring 4』販売を開始



- 179か国で累計販売個数250万個以上の実績
- 指に着けるだけで、自身の睡眠やストレス、アクティビティ、そして、総合的なコンディションなどの健康に関するデータを収集
- 『日経トレンドィ』2025年12月号 2025年ヒット商品 第21位「スマートリング」に選出

2025年7月、スマートフォン向け高性能ゲームコントローラー 『Backbone Pro』販売を開始



- FlowState™テクノロジーにより、Bluetooth接続された複数のデバイス間を瞬時に切り替えられ、スマートフォン、PC、タブレット、VRヘッドセットなど、あらゆる環境で快適なゲームプレイを実現
- 最大40時間連続プレイが可能な内蔵バッテリーを搭載し、長時間のゲームセッションにも対応

2025年8月、パソコン導入実績第1位の年賀状ソフト『筆ぐるめ』販売を開始



- ・年賀状ソフト「筆まめ」「筆王」「宛名職人」に加え、今夏より「筆ぐるめ」も販売
- ・Windows10サポート終了に伴う、パソコンの買い替え等により、例年に比べ好調に推移

注) パソコン導入実績第1位：パソコンへのプリインストールまたは同梱を含む導入実績

地域創生への貢献

(ふるさと納税の返礼品に採用)



- 当社製品の開発、および製造パートナーの所在地である北海道札幌市、埼玉県東松山市、東京都渋谷区で、ふるさと納税の返礼品として54製品が採用
- 納税額向上に地域貢献

3. 今後の見通し

3月決算から12月決算へ変更

2025年6月20日開催の定時株主総会決議をもって、3月決算から12月決算に変更しました。従来はグループ会社間で決算月が異なっておりましたが、グローバルスタンダードに合わせて決算月を統一することにより、海外を含むステークホルダー各位への適時・適切な情報開示を通じて、事業運営の効率化を目的としています。

変則決算について

2025年12月期につきましては、当社は2025年4月1日から12月31日までの9か月間を対象とした変則決算となります。

- 2025年3月期（従来） : 2024年4月1日～2025年3月31日（12か月）
- 2025年12月期（変更後） : 2025年4月1日～2025年12月31日（9か月）
- 2026年12月期以降 : 1月1日～12月31日（12か月）

インバウンド需要の回復や米国における「ポケットーク」の急速な販売拡大により、主に「ポケットーク」の販売状況が大きく変化しています。また、米国関税政策等による貿易摩擦や為替変動の影響等により、精度の高い業績予想の算定が困難なため、引き続き、2025年12月期の連結業績予想は非開示とさせていただきます。

各事業の2025年12月期 通期方針

以下の方針に取り組み、収益の最大化を目指す

ポケットーク事業

共通

原価低減、売価値上げにより粗利率を大幅改善した新機種PTS2、およびサブスクリプションの拡販により、さらなる収益の拡大を目指す

米国

1. Education分野の販売拡大に加え、Healthcare、Government分野に注力
2. ディストリビューターを積極的に活用
3. エンタープライズ用APPやVentana（分析・管理コンソール機能）によるサブスクリプションの販売推進

日本

1. ソフトウェア（「Sentio」に一本化）や、翻訳エンジンのサブスクリプションモデルの推進
2. 高機能モデルPTS2の法人販売拡大
3. 低価格モデルPTS1の個人ユーザー向け販売拡大

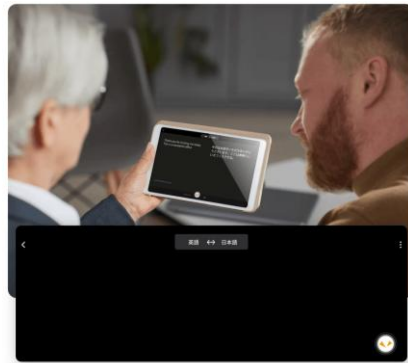
日経トレンディ「2026ヒット予測100」にて 「Sentio」を含む多言語リアルタイム翻訳が第1位に選出



オンライン会議



動画視聴



対面で



カンファレンス



学校の授業で



観光ツアー

(1) 売り上げ・販売量が伸びる (2) 画期的な技術や着眼点 (3) 消費者の生活スタイルを変える—の3点の可能性を基に、来年流行しそうな製品、サービスを選出する日経トレンディの「2026年ヒット予測100」の第1位に、「多言語リアルタイム翻訳」をテーマとする製品群の一つとして、「Sentio」が選出

“据え置き型”AI同時通訳機「ポケットークX」 2026年の販売開始に向け、年内に実証実験を開始



「ポケットークX（エックス）」（据え置き型AI通訳デバイス）

特徴：両面ディスプレイで双方の言葉を瞬時に翻訳し、自然な対話を実現

高感度マイクとスマートセンサーで、人を検知して自動起動

会話履歴をワンタッチで消去できるプライバシー設計

開発ベース：AI同時通訳ソフト「Sentio」を基盤に開発

利用シーン：空港・病院・行政窓口・ホテルなど

価格(仮)：買い切り（2年間 20万円）注、レンタル（1万円/月）、サブスク（10万円/年） 注：3年目以降 7万円/年

各事業の2025年12月期 通期方針

以下の方針に取り組み、収益の最大化を目指す

ソースネクスト事業（ポケットク除く）

- 1.Windows11への移行特需の取り込み
- 2.成長市場における新規製品の発掘
- 3.AIを活用した製品で、持続的な収益を実現

DX化推進とWindows10サポート終了による特需

- ・DX化推進やWindows10のサポート終了による、Windows11への移行のため、ソフトウェアの販売が拡大傾向
- ・日本国内におけるDX化の促進により、PDF編集ソフト「いきなりPDF」の需要が伸長、今後も継続する見込み
- ・Windows10サポート終了後も、OS移行未完了に伴う需要が続き、販売はピーク後も一定水準を維持する見込み。

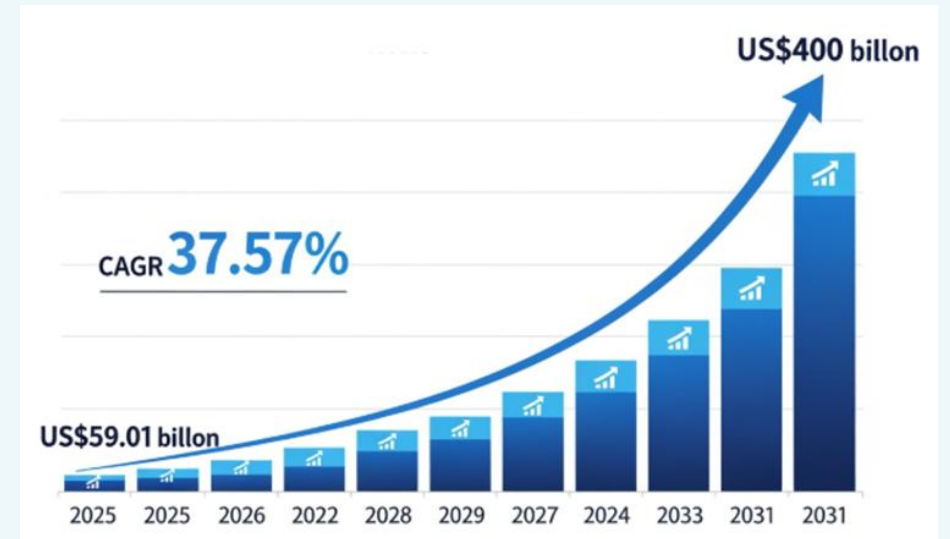


生成AI市場の成長性

- 生成AI市場の市場規模は、2025年には590.1億米ドルに達すると予測されています。市場規模は年間成長率（CAGR 2025～2031）37.57%を示し、2031年までに市場規模は4,000億米ドルに達すると予想されています。世界的に比較すると、最大の市場規模は米国（2025年には275億1000万米ドル）。

出典： Statista Market Insights （2025年10月）

- 「ゴールドラッシュ」と呼ばれる構造的市場機会



Statista Market Insights調べをもとに当社作成

ソースネクストの基盤インフラ戦略

- 生成AI時代における「つるはしとシャベル」となるようにAIインフラの周辺ツールを提供し、基盤を支える

ソースネクストの戦略ポジション

- 巨大AIモデル企業とは競合せず、周辺インフラにおけるデータの「ラストマイル」に集中

出典： Statista Market Insights （2025年10月）

<https://www.statista.com/outlook/tmo/artificial-intelligence/generative-ai/worldwide>

AIプラットフォームへ入力するときの「ラストマイル問題」



技術的制限と非効率

AIが対応できない形式やサイズ制限が多く、ユーザーは手作業で変換・分割する必要がある



前処理不足による精度低下

生データをそのまま入力するとAIが正常に機能しない場合、精度は大幅に低下する



セキュリティと信頼性の不安

機密データ流出やプライバシーのリスクへの懸念が大きく、企業での活用に安全性が確保できない

SOURCENEXT「AIデータブリッジ」



データ変換

多様なファイル形式をAIに適した形式に自動変換



最適化

AI精度向上のためのデータ前処理



セキュア配信

暗号化技術による機密情報保護



AIプラットフォームでの活用

最適化されたデータを安全に効率よく活用

AI導入の「ラストマイル」を効果的かつ安全に解消

—「AIデータブリッジ」スイートの全体像—

価値提案

- 「効率性 × セキュリティ」の二重価値
- 生成AIで安全に・すぐに使えるデータゲートウェイ
- 統一UXで"いきなり"使えるシンプル操作

展開戦略

- フリーミアム → プロ/ビジネスへアップセル
- AI企業との提携も積極的にマーケティング
- 高価格エンタープライズ製品と競合機能ツールの中間に位置

AIデータブリッジ - 7つの「いきなり」シリーズ（仮）



いきなりドキュメント変換

あらゆるファイル形式を
AI用に最適化



いきなりムービーtoテキスト

動画コンテンツの文字起こし・
要約



いきなり音声toテキスト

音声ファイルの
高精度テキスト化



いきなりファイル整理

AI搭載の自動整理・分類



いきなりAI OCR

画像内のテキスト認識・
抽出



いきなりデータベース整理

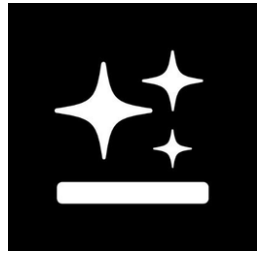
構造化データの最適化・
標準化



いきなり個人情報マスキング

個人情報を自動検出・
マスキング

2025年11月「Genspark」における 日本初のオフィシャルパートナー契約を締結



「Genspark」



- MainFunc Inc.（米国カリフォルニア州パロアルト）が開発・提供する
オールインワンAIワークスペース「Genspark」について、日本初のオフィシャルパートナー契約を締結
- 1年版および当社独自SKUである3年版を販売

今年10月、高精度で使い放題のオフラインAI文字起こしソフト「RecText AI」にアップデートを配信



アップデート内容

- ・英語の文字起こしに対応
- ・文字起こし結果がより自然に
- ・スマホの録音形式".m4a"形式にも対応

「RecText AI」の特長

- ・音声からテキストへの変換には、文字起こしAI『オートメモ』のオフライン版エンジンを採用
- ・従来は、クラウド上でしか利用できなかった高精度な文字起こしと、一般的なパソコンで動作できる軽量化を両立
- ・パソコンのローカル環境で動作するため、機密性の高い役員会議や人事会議などでも安心

想定される利用シーン

- 個人** 買い切り型で手軽に使える文字起こしツールとして、会議や学習、趣味の記録などでの活用
- 法人** 機密性の高い会議などの録音、文字起こし

今年10月、AIオフライン翻訳ソフト「AI本格翻訳」に "専門用語辞書"などのアップデートを配信



アップデート内容

- ・35分野51万語の専門用語辞書を搭載
- ・新たに6言語に対応
- ・ABBYY社のOCRエンジンを採用によりファイル翻訳の精度が向上

「AI本格翻訳」の特長

- ・インターネット環境がなくても、高精度な翻訳サービスの利用が可能
(オフラインでもGoogle翻訳に匹敵する翻訳精度)

法人企業での具体的なニーズ

- ・機密情報や個人情報を含む文書を、安全かつレイアウトを保ったままの翻訳
- ・製造業では機密性の高い海外製品等の仕様書や開発情報や技術情報の翻訳、製造現場では
- ・ネットワーク環境のない中での文書の翻訳、そのほか、海外との契約書や論文や技術文書の翻訳など

次の常識をつくる

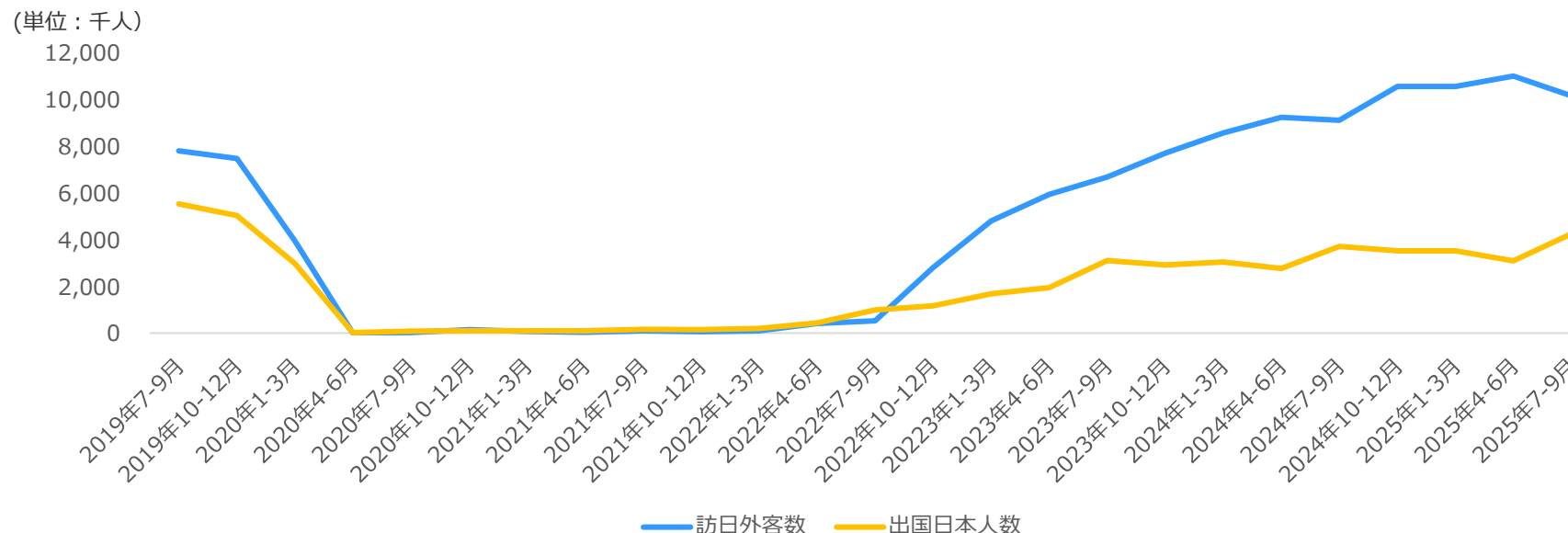
We Source What's Next.

4. 補足資料

訪日外客数と出国日本人数

(単位：人)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
訪日外客数	2017年	2,295,668	2,035,771	2,205,664	2,578,970	2,294,717	2,346,442	2,681,518	2,477,428	2,280,406	2,595,148	2,378,079	2,521,262
	2018年	2,501,409	2,509,297	2,607,956	2,900,718	2,675,052	2,704,631	2,832,040	2,578,021	2,159,595	2,640,610	2,450,751	2,631,776
	2019年	2,689,339	2,604,322	2,760,136	2,926,685	2,773,091	2,880,041	2,991,189	2,520,134	2,272,883	2,496,568	2,441,274	2,526,387
	2020年	2,661,022	1,085,147	193,658	2,917	1,663	2,565	3,782	8,658	13,684	27,386	56,673	58,673
	2021年	46,522	7,355	12,276	10,853	10,035	9,251	51,055	25,916	17,720	22,113	20,682	12,084
	2022年	17,766	16,719	66,121	139,548	147,046	120,430	144,578	169,902	206,641	498,646	934,599	1,370,000
	2023年	1,497,472	1,475,455	1,817,616	1,949,236	1,899,176	2,073,441	2,320,694	2,157,190	2,184,442	2,516,623	2,440,890	2,734,115
	2024年	2,688,478	2,788,224	3,081,781	3,043,003	3,040,294	3,140,642	3,292,602	2,933,381	2,872,487	3,312,193	3,187,000	3,489,800
2025年	3,781,629	3,258,491	3,497,755	3,909,128	3,693,587	3,377,985	3,437,118	3,428,000	3,266,800	0	0	0	

(単位：人)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出国日本人数	2017年	1,295,059	1,493,399	1,745,412	1,234,921	1,317,742	1,336,169	1,480,718	1,888,071	1,622,694	1,459,083	1,546,985	1,469,039
	2018年	1,423,727	1,390,518	1,807,063	1,356,679	1,383,847	1,421,649	1,557,980	2,033,435	1,630,088	1,646,230	1,673,473	1,629,345
	2019年	1,452,157	1,534,792	1,929,915	1,666,546	1,437,929	1,520,993	1,659,166	2,109,568	1,751,477	1,663,474	1,642,333	1,712,319
	2020年	1,380,762	1,316,820	272,697	3,915	5,539	10,663	20,295	37,137	31,606	31,049	30,703	33,033
	2021年	48,691	24,807	28,896	35,905	30,121	30,666	43,184	66,051	52,366	50,841	51,774	48,942
	2022年	74,982	46,932	70,678	129,168	134,013	171,529	277,945	386,412	319,165	349,557	379,196	432,057
	2023年	443,105	537,705	694,292	560,183	675,603	703,259	891,615	1,200,930	1,004,730	937,715	1,027,110	947,911
	2024年	838,581	978,884	1,219,789	888,767	941,710	930,229	1,048,823	1,437,126	1,212,545	1,148,502	1,175,116	1,187,200
2025年	912,298	1,181,062	1,423,449	961,386	1,076,756	1,054,045	1,205,435	1,648,279	1,394,500	0	0	0	

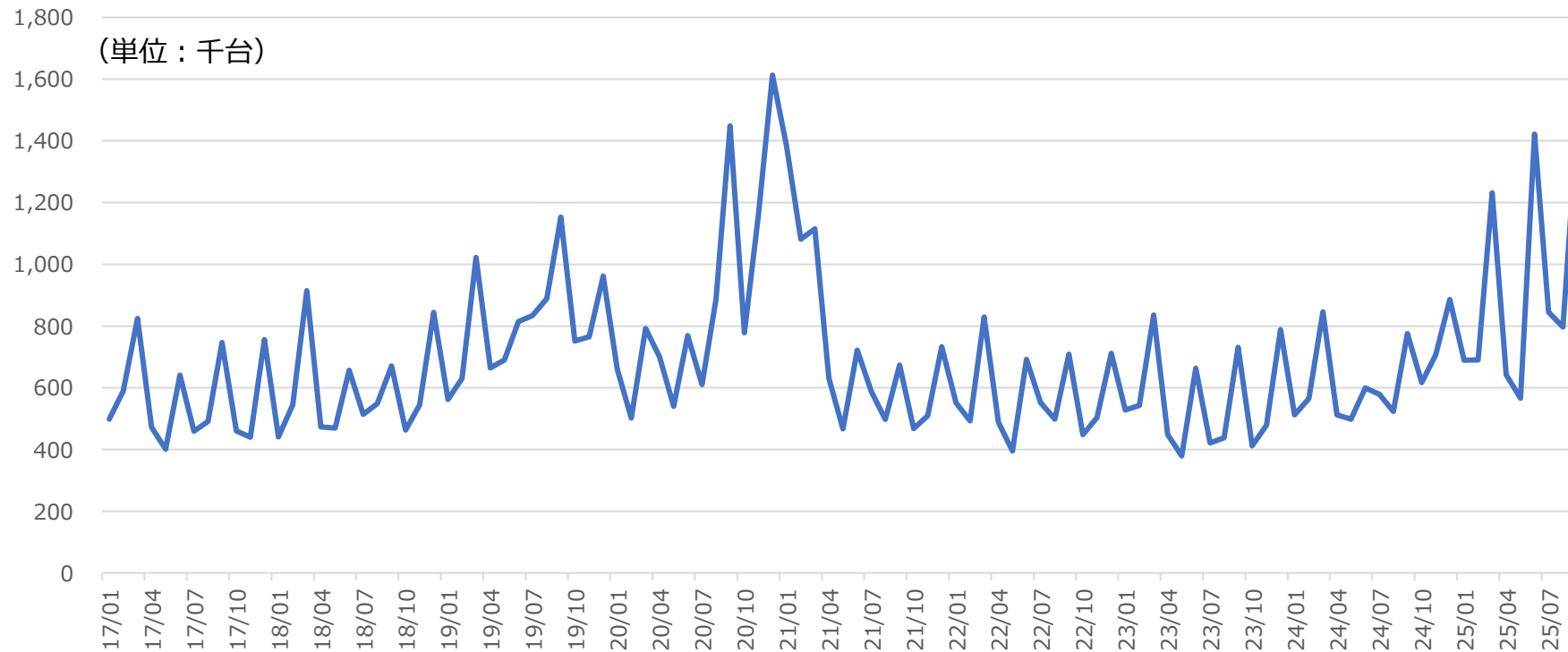


出典：日本政府観光局調べをもとに当社作成

PC出荷台数推移

(単位：千台)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	498	589	825	472	401	641	459	491	747	460	440	756
2018年	441	545	915	473	469	657	514	548	671	463	545	844
2019年	562	630	1,022	664	690	814	834	889	1,153	751	765	962
2020年	660	502	792	699	540	769	610	888	1,449	778	1,160	1,613
2021年	1,384	1,081	1,115	631	467	722	588	497	673	468	509	733
2022年	551	493	829	488	395	692	552	498	709	448	503	711
2023年	528	543	836	448	379	663	421	438	731	412	479	788
2024年	512	565	846	512	498	599	579	523	775	617	707	886
2025年	689	690	1,232	642	566	1,422	845	797	1,445	0	0	0



出典：一般社団法人電子情報技術産業協会調べをもとに当社作成

■ 2025年11月13日（木） 16時

本資料42頁「2025年11月「Genspark」における 日本初のオフィシャルパートナー契約を締結」を追加いたしました。

同日15時30分の決算発表後に、PR情報として開示したためです。

**2025年11月「Genspark」における
日本初のオフィシャルパートナー契約を締結**



「Genspark」





- ・ MainFunc Inc.（米国カリフォルニア州パロアルト）が開発・提供する
オールインワンAIワークスペース「Genspark」について、日本初のオフィシャルパートナー契約を締結
- ・ 1年版および当社独自SKUである3年版を販売

Copyright© SOURCENEXT CORPORATION All rights reserved.

■ 2025年11月13日（木） 18時

本資料37頁「2025年11月「“据え置き型”AI同時通訳機「ポケットクX」 2026年の販売開始に向け、年内に実証実験を開始」の
買い切り価格（仮）が未記載だったため、追記いたしました。

追記内容：買い切り（2年間 20万円）



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんので、ご了承ください。